

朝の居場所の運営状況について

文 教 委 員 会 資 料
令 和 7 年 9 月 2 4 日
子 ども 未 来 部 子 ども 育 成 課

I 目的

- ・「朝の小1の壁」は、個々の家庭・学校のための課題ではなく社会全体で真摯に向き合い解決に向けて取り組むべき重要な課題。
区内でも校門の前で学校の開門を待つ児童が見られるため、児童の安全・安心の確保を目的に「朝の居場所事業」を実施
- ・国の調査によると児童の7%が朝食を欠食しており、朝の居場所づくりや朝食支援を通し、児童の健やかな成長を支援

II 試行実施内容・結果

〈実施校〉 源氏前小学校、戸越小学校、豊葉の杜学園

〈期間等〉 5月26日から7月18日 ※豊葉の杜学園は5月27日から開始
平日の朝7時30分から学校ごとに定められた教室への入室可能時刻まで

〈運 営〉 読書や自学学習などにより静かに過ごす
見守り員（シルバー人材センター委託）が登校時間までの見守りとトラブル対応等を実施

〈利用状況〉	（単位：人）		
	源氏前	戸越	豊葉の杜
児童数	348	418	593
登録者数	29	50	35
利用者数（累計）	425	242	15
利用者数（1日平均）	10.9	6.1	0.4

III アンケート結果

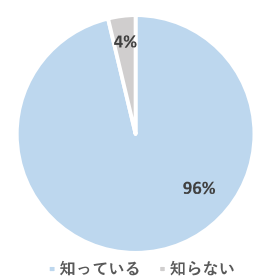
〈対象〉 源氏前小学校、戸越小学校、豊葉の杜学園の全保護者

〈期 間〉 6月25日から7月8日

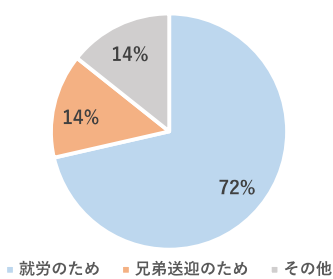
〈回答数〉 240件

〈主な結果〉

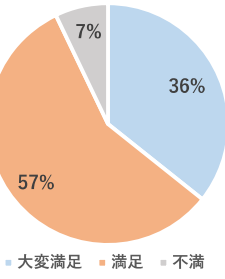
Q 居場所を知っているか



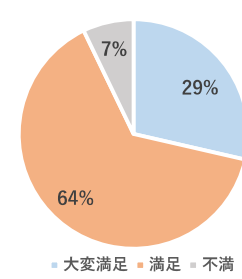
Q 利用した理由



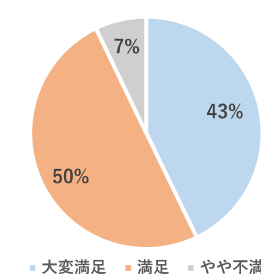
Q 安全性はどうか



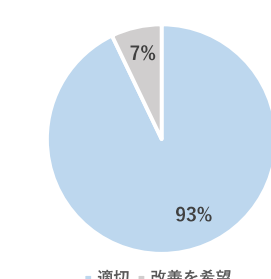
Q 見守り員の対応はどうか



Q 活動内容の満足度はどうか



Q 開始時間の設定は適切か



朝の居場所の運営状況について

IV 課題及び今後の方向性

課題	見守り員の確保 シルバー人材センターと全校展開に必要な人員の確保に向け調整中
今後の方向性	・ シルバー人材センターで確保できる人員を最大限活用しつつ、民間事業者への委託も検討 ・ 10月以降、人員が確保できたところから段階的に展開

※各期の学校名は9月11日時点の状況。今後、人員の動向により、変動する可能性あり

	試行（2025.5）	第一期（2025.10）	第二期以降（2025.11以降、段階的に展開）	
	3校	10校程度	11校程度	13校程度
品川地区	—	御殿山	城南・浅間台・三木 ・城南第二・台場・品川学園	
大崎地区	—	芳水	第一日野・第三日野・第四日野・日野学園	
荏原地区	源氏前・戸越・豊葉の杜	京陽・宮前・旗台 ・小山・第二延山	延山・中延・大原・後地・上神明 ・清水台・小山台・荏原平塚学園	
大井地区	—	山中・立会	大井第一・鮫浜・浜川・伊藤・鈴ヶ森・伊藤学園	
八潮地区	—	八潮学園	—	
人員	シルバー人材センター			シルバー人材センター または民間委託を想定

朝の居場所の運営状況について

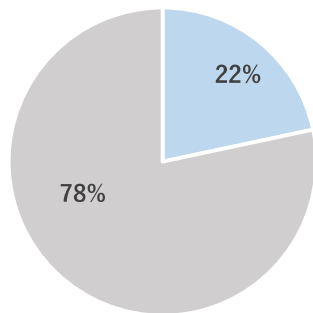
V 朝食支援について

〈概要〉

- ・ 源氏前小学校、戸越小学校、豊葉の杜学園で11月からの試行に向け、調整中
- ・ 週に2日、パン・おにぎりを提供予定
- ・ 試行結果を踏まえ、今後、他校への展開方法について検討

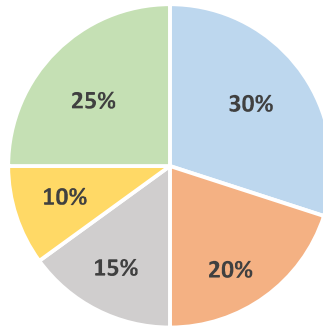
〈主なアンケート結果〉 ※ 朝の児童の居場所確保事業試行3校へのアンケートとあわせて実施

Q 朝食支援利用意向



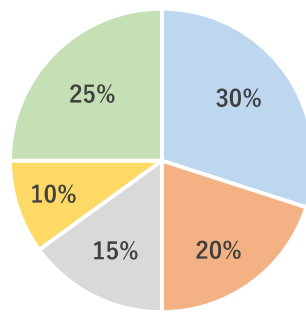
- 利用したい
- 利用しない

Q 朝食支援を利用したい理由



- 時間的余裕の創出
- 子どもの食事環境の改善
- 経済的支援
- 特殊な状況への対応
- その他

Q 朝食支援を利用しない理由



- 家庭での朝食提供が可能
- 家族との時間を大切にしたい
- 家庭の役割と責任の重視
- 子どもの生活リズムへの配慮
- その他

〈事業スキーム〉

